

# →今月の【 掲示板 】 2022/1月~2月

## 今月の待合室は、検査科より『検査データについて』を掲示しています。

**今月の担当は**  
検査科 **です**

～当院の排便障害(便漏れ、便秘)ケア外来での検査のご紹介～  
 当院では排便障害(便漏れ、便秘)に関する検査、訓練などを行っています。  
 どのような検査、訓練があるのかをご紹介します。

**直腸肛門内圧測定検査**

直腸肛門内圧測定検査は、直腸肛門内圧を測定し、排便時の直腸肛門内圧の変化を測定します。  
 検査の結果から、直腸肛門内圧の低下や排便時の直腸肛門内圧の上昇を確認することができます。



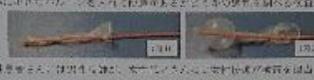
**【検査目的】**  
 排便時の直腸肛門内圧を測定し、排便時の直腸肛門内圧の変化を確認することができます。

**【検査の手順】**  
 ① 直腸肛門内圧測定器を直腸肛門内に挿入します。  
 ② 直腸肛門内圧測定器を直腸肛門内に挿入し、直腸肛門内圧を測定します。  
 ③ 排便時の直腸肛門内圧を測定し、排便時の直腸肛門内圧の変化を確認することができます。

**【検査後】**  
 直腸肛門内圧測定器は直腸肛門内から取り除きます。

**直腸感覚検査**

直腸感覚検査は、直腸の感覚を測定し、排便時の直腸感覚の変化を測定します。  
 検査の結果から、直腸感覚の低下や排便時の直腸感覚の上昇を確認することができます。



**【検査目的】**  
 排便時の直腸感覚を測定し、排便時の直腸感覚の変化を確認することができます。

**【検査の手順】**  
 ① 直腸感覚測定器を直腸肛門内に挿入します。  
 ② 直腸感覚測定器を直腸肛門内に挿入し、直腸感覚を測定します。  
 ③ 排便時の直腸感覚を測定し、排便時の直腸感覚の変化を確認することができます。

**【検査後】**  
 直腸感覚測定器は直腸肛門内から取り除きます。

**肛括約筋検査**

肛括約筋検査は、肛括約筋の機能を測定し、排便時の肛括約筋機能の変化を測定します。  
 検査の結果から、肛括約筋機能の低下や排便時の肛括約筋機能の上昇を確認することができます。



**【検査目的】**  
 排便時の肛括約筋機能を測定し、排便時の肛括約筋機能の変化を確認することができます。

**【検査の手順】**  
 ① 肛括約筋測定器を肛門内に挿入します。  
 ② 肛括約筋測定器を肛門内に挿入し、肛括約筋機能を測定します。  
 ③ 排便時の肛括約筋機能を測定し、排便時の肛括約筋機能の変化を確認することができます。

**【検査後】**  
 肛括約筋測定器は肛門内から取り除きます。

**便漏れ防止訓練**

便漏れ防止訓練は、便漏れ防止のための訓練です。  
 訓練の結果から、便漏れ防止の効果を測定することができます。



**【訓練目的】**  
 便漏れ防止のための訓練です。

**【訓練の手順】**  
 ① 便漏れ防止訓練器を直腸肛門内に挿入します。  
 ② 便漏れ防止訓練器を直腸肛門内に挿入し、便漏れ防止訓練を行います。  
 ③ 便漏れ防止訓練の結果を測定し、便漏れ防止の効果を測定することができます。

**【訓練後】**  
 便漏れ防止訓練器は直腸肛門内から取り除きます。

**バルーン排便訓練**

バルーン排便訓練は、排便のための訓練です。  
 訓練の結果から、排便の効果を測定することができます。



**【訓練目的】**  
 排便のための訓練です。

**【訓練の手順】**  
 ① バルーン排便訓練器を直腸肛門内に挿入します。  
 ② バルーン排便訓練器を直腸肛門内に挿入し、バルーン排便訓練を行います。  
 ③ バルーン排便訓練の結果を測定し、排便の効果を測定することができます。

**【訓練後】**  
 バルーン排便訓練器は直腸肛門内から取り除きます。

**腸管運動検査**

腸管運動検査は、腸管の運動を測定し、排便時の腸管運動の変化を測定します。  
 検査の結果から、腸管運動の低下や排便時の腸管運動の上昇を確認することができます。



**【検査目的】**  
 排便時の腸管運動を測定し、排便時の腸管運動の変化を確認することができます。

**【検査の手順】**  
 ① 腸管運動測定器を腹部に貼付します。  
 ② 腸管運動測定器を腹部に貼付し、腸管運動を測定します。  
 ③ 排便時の腸管運動を測定し、排便時の腸管運動の変化を確認することができます。

**【検査後】**  
 腸管運動測定器は腹部から取り除きます。